

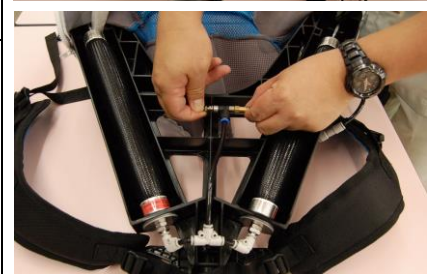
4.介護ロボットおよび介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

3)装着型移乗介護ロボット

(3)使用前の点検手順内容

頻度	1週間に1回程度の点検	
点検項目	i	エアチューブの抜け・劣化や折れ・穴・傷などを点検。
	ii	外装カバーの汚れ・やぶれを確認。

項目	No.	手順	留意点
外装カバー外し	①	前面より、上部左右にある外装カバーのファスナーを開ける。	
内装外し	②	背面側の安全弁（発泡スチロールとプラスチック板）を外す。	安全弁が破損しないよう、注意して扱う
エアチューブ確認	③	左右の人工筋肉に繋がっている、中央のエアチューブの抜け・劣化や折れ・穴・傷などが無いか、手で押しながら確認し、点検する。	エアチューブを実際に触って確認する。ネジのゆるみ等も確認が必要。
外装カバー確認	④	外した外装カバーの汚れ・やぶれを確認。汚れている場合は、外装カバーを取り外して、必要に応じて水洗いをする。	外装カバーを水洗いする場合、本体に正しく装着できるように、それぞれの部位や脱着方法を十分に確認しておくこと。



頻度	1カ月に1回程度の点検	
点検項目	i	全体のゆがみやへこみが無いか確認。
	ii	左右のももフレームのワイヤーやネジに異常がないか確認。

項目	No.	手順	留意点
全体確認	①	本体や、構成部品全体を見渡して、ゆがんでいたり、へこんだりしていないか確認する。	図のように肩ベルトで持って持ち上げるとゆがみを確認しやすい。本体を触ることでゆがみやへこみを確認する。
外装カバー外し	②	左右のももフレームの間接部分（屈曲部位）外装カバーのボタンを外す。	外装カバーは無理に引っ張ると破損する恐れがあるため注意する
	③	左右のももフレーム外装カバーのファスナーを外し、フレームを取り出す。	



ももフレーム 確認	④	手で左右のももフレームを前後に回転させ、左右のワイヤーに異常がないか確認する。	強引に動かすと破損の原因になる。指などを挟まないよう注意すること。
	⑤	左右のももフレームのネジ（片側2箇所、計4箇所）のネジのゆるみがないか確認する。	それぞれのネジを実際に触り、ゆるみがないか確認する。

